

イトコのお姉ちゃんと僕の甘々性交3

春日エリイ

R18
FOR
ADULT

日向野くん
お疲れ様

市民課

日向野秋
町役場勤務の23才

はい、お疲れ様でした
お先に失礼します

ペコ

おつかれなうござす

おつかれー

先輩今日の日向野さん
その…何と言うか
ちよっとHでしたよね

ああいつもは
あんな短いのは
履かないのにな

ふっふっ

ふっふっ

これから
デートにでも
行くのかもな

ええっ！
日向野さんって
彼氏いるんですか？！

ハート♡

ハート♡

ああそうらしいぞ
年下で本人曰く
可愛くて仕方がない
そうだ

ガクッ

年下ですか！
いいなあその子
あんな綺麗なお姉さんと
付き合えるなんて
羨ましいですっ！！



ナオ君——っ
お待たせ——っ

はぁ

はぁ

はぁ

僕の名前は
立木直(16)才
極々平凡な高校生だ

あっお姉ちゃん

すごい汗だよ
走ってきたの？

はぁ

うん♡
もう待ちきれなくてね
急いで来ちゃった

はぁ

向こうに車
止めてきたから
行きましょう

そんな平凡な僕は今
イトコのお姉ちゃん
アキ姉ちゃんと付き合っている

はぁ

もちろん
男女の関係もある
そういう付き合いだ

平凡な僕に比べ
アキ姉ちゃんは
容姿端麗スタイル抜群な
大人の女性だ



はあ

はあ

正直
まだ学生の僕には
不釣り合いな人かも
しれないけど

アキ姉ちゃんは
まったく気にする様子もなく
僕と対等に付き合ってくれていて

グ
グ
グ

あらナオ君
勃ってる？

う、うん

久しぶりだもんね
今すぐ抜いてあげようか？
溜まってるんでしょう

かっ

グ
グ
グ

いいの？

そんな
お姉ちゃんに
今は甘えさせて
もらってる

もちろん
実はお姉ちゃんも早く
ナオ君の啜えたくて
堪らないの♡

ぐっ

いつか僕が
大人になる日まで



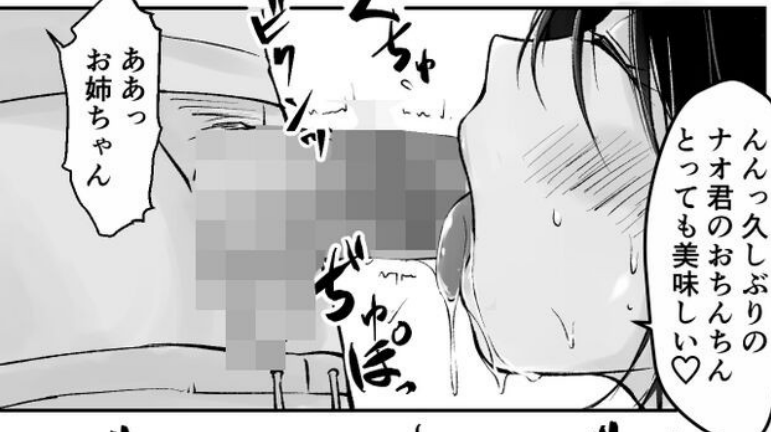


ごめんねナオ君
なかなか相手して
あげられなくて

仕方ないよ
ああっ

お姉ちゃん
仕事っ

なんだからっ
あうっ



んんっ久しぶりの
ナオ君のおちんちん
とっても美味しい♡

ああっ
お姉ちゃん



アキ姉ちゃんは
本当優しくて



いつも甘えさせて
くれる



ありがとうナオ君

今日は沢山してあげるから
許してね

はぁ



そんな
綺麗なお姉さんを
汚していくのは
少し興奮した

はぁ

はぁ

好きでしょ
こういうの♡

「ばるん」

「たがん」

グイン

もっと
掛けてもいいのよ？

はぁ

はぁ





はああっ

んっ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

久しぶりのHのせいかな
今日はお互い
いつも以上に
積極的になっていた

んっ

んっ

んっ

んっ



ナオくんは
どうしたい？
お家に帰って
朝までする？

それともこれから
ホテルに行く？

どんなHがしたいの
かしら？

あ、えつと
その…

いいのよ
何でも言うて

お姉ちゃん
何でもしてあげるよ

じゃあ、このまま
外でHしてもいいかな？

いつもだったら
言えないような事も
今日は言えてしまった

あらまあ
外でっ！？

アオヤンが33の。

もちろんいいけど
流石にここじゃまずいから

もっと
人のこない所まで
行きましょうか

ひよっとしてナオ君
お姉ちゃんのスーツ姿
気に入っちゃった？

えっとその...うん
大人っぽいついていうか
凛々しいっていうか

スカートも短くて
ちよっとHだし

あら嬉しい気づいてたのね
ナオ君が喜ぶと思ってね

一番短いのを履いてきたのよ
こういうの好きかしら？
パツパツのミニスカート♡

う、うん
凄くいいよ

こんなの
もう

やっぱりねえ
もうHなんだから♡

さあどうぞ
好きにして
いいわよ♡

堪らない

ただでさえ
久しぶりなのに



はぁ
はぁ

凄いいっ激しいっ

はぁ

はぁ

はぁ

ああんっ
ナオ君っ

グ
グ
グ

僕今日は激しく
しちゃうかもっ

グ
グ
グ
グ
グ

ナオ君っ

ああんっ

ああんっ

ごめんお姉ちゃん
久しぶりで抑えが効かなくてっ

グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ

はぁ
はぁ

が
が
が

グ
グ
グ



激しいナオ君も
大好きっ

ちゅう

はあ

好きよナオ君っ

はあ



いいのよ
たくさん突いてえっ!

アキ姉ちゃん!
僕堪らないよっ



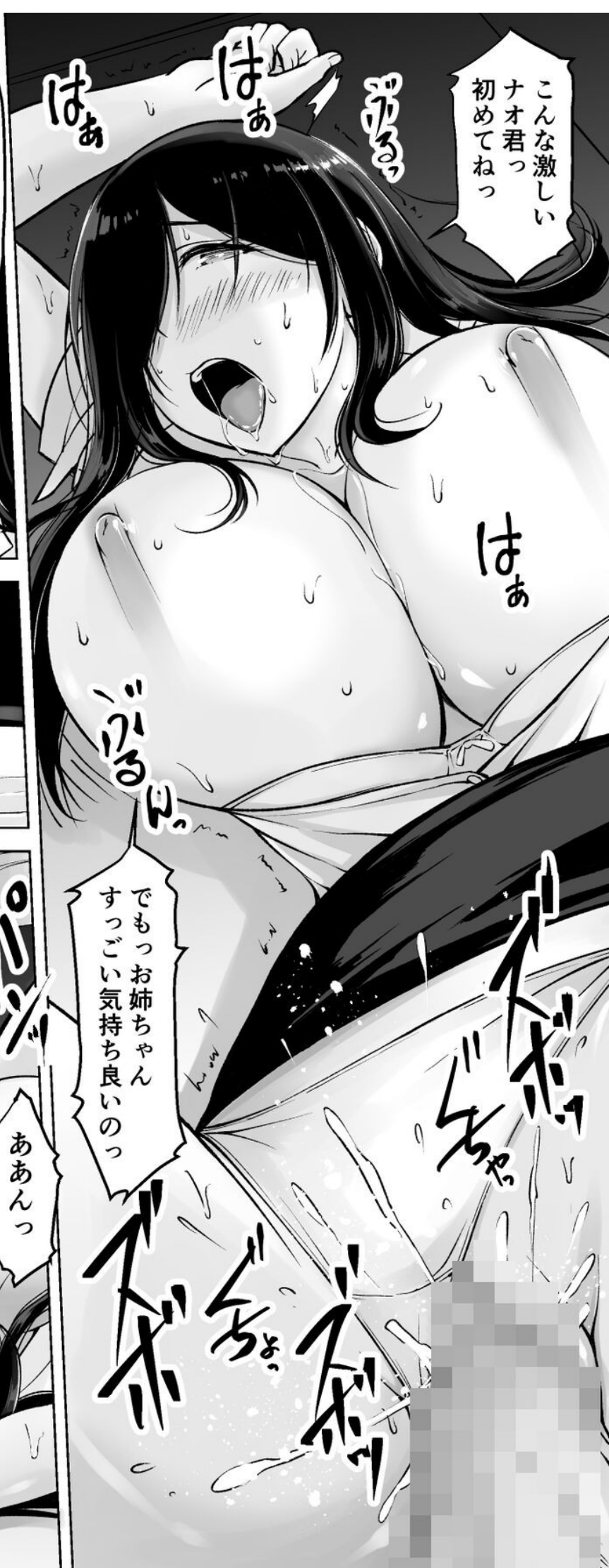
ああんっ
おっきいのが
奥までズンズン
入ってくるうっ

はあ

ああんっ

はあ

あああんっ



こんな激しい
ナオ君っ
初めてねっ

はあ

はあ

あーっ

はあ

ぐーん

でもっお姉ちゃん
すごい気持ち良いのっ

ぐーん
ぐーん
ぐーん



はあ

はあ

すっごいっ
気持ち良いっっっ!!

うわーっ

パン

パン

ぐちゃ

ぐちゃ

パン

あああ

うわーっ



はあ

はあ

ナオ君の
太くて硬いのがっ

激しく擦れてっ

うわーっ

うわーっ

パン

パン

ぐちゃ

ぐちゃ

パン

オマンコっ
かき回されてるっ

コッ

グッ

グッ



うわーっ

もう駄目えっ
イツちやううっ



イクうつ!!

んはっ

んはっ

アキ姉ちゃんっ!!

中熱いいっ!!









あんなに
なんか音さ聞こえねっか

音お?

えっ!?

やだっ
誰か人来ちやった!?

どうしよう
こんなところ
見られちゃったら
恥ずかしいっ

声も
聞こえちゃうかも

駄目っ
見られちゃうっ

ナオ君!
こっちっ

えっえっ
お姉ちゃん?

ナオ君っ
ナオ君っ

うそっ!?
気付いてないのっ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ



はぁ

しーっ

はぁ

ぎゅ

はぁ

お姉ちゃん?

おぎゅ



車さあある
やっぱり誰か
来てんねか

はぁ

ドキドキ

はぁ

ドキ

この辺は
日向野の山だから
家のもんが
来てんのかもな



はぁ

ああ日向野かあ
胸の大きい娘っ子のとこか
上の方が役場におったな

はぁ



はぁ

あらっ



お姉ちゃん
褒められてる？

可愛いだけでなく
すごい乳しとるしな

あ

乳首
ダメ

はあ

乳だけじゃなくて
尻もいいぞ

ビーン

ああ

ああ

カッ

あんっこらっナオ君
今は駄目よっ

ああ

張りがあって肉付きも良い
あんな娘そうはおらん

グラッ

グラッ

ほんになああの娘は
Hな体つきをしとる！

ああ

お姉ちゃんは魅力的だよ
お姉ちゃんを見てると
僕もやりたくなってきちゃう

グイン

私ってそんなに
Hに見える？

はい

もうっ
ナオ君までっ

皆んな
Hなんだからっ

はあ

ふうっ

ぴん

もうっ
みんな勝手な事言つてえ

はあ



アキ姉ちゃん
お姉ちゃん！
大好きだよっ

んっんっ

はあ

はあ

はあ

んっんっ

お姉ちゃん
は僕のものだから

パン

ぐちゃ

はあ

ぐちゃ

パン

誰にも
渡さないからっ

はあ

はあ

私もよ
ナオ君

はあ

はあ

パン

パン

ぐちゃ

ぐちゃ

パン

んっんっんっ

はあ

パン

ぐちゃ

パン

はあ

お姉ちゃんを
好きにしたいのは
あなただからね

ぐちゃ

パン



あぁつまりこれ
いつも以上に
感じちゃってるかも

やだ凄く
気持ちいいっ
なんでこんな時に

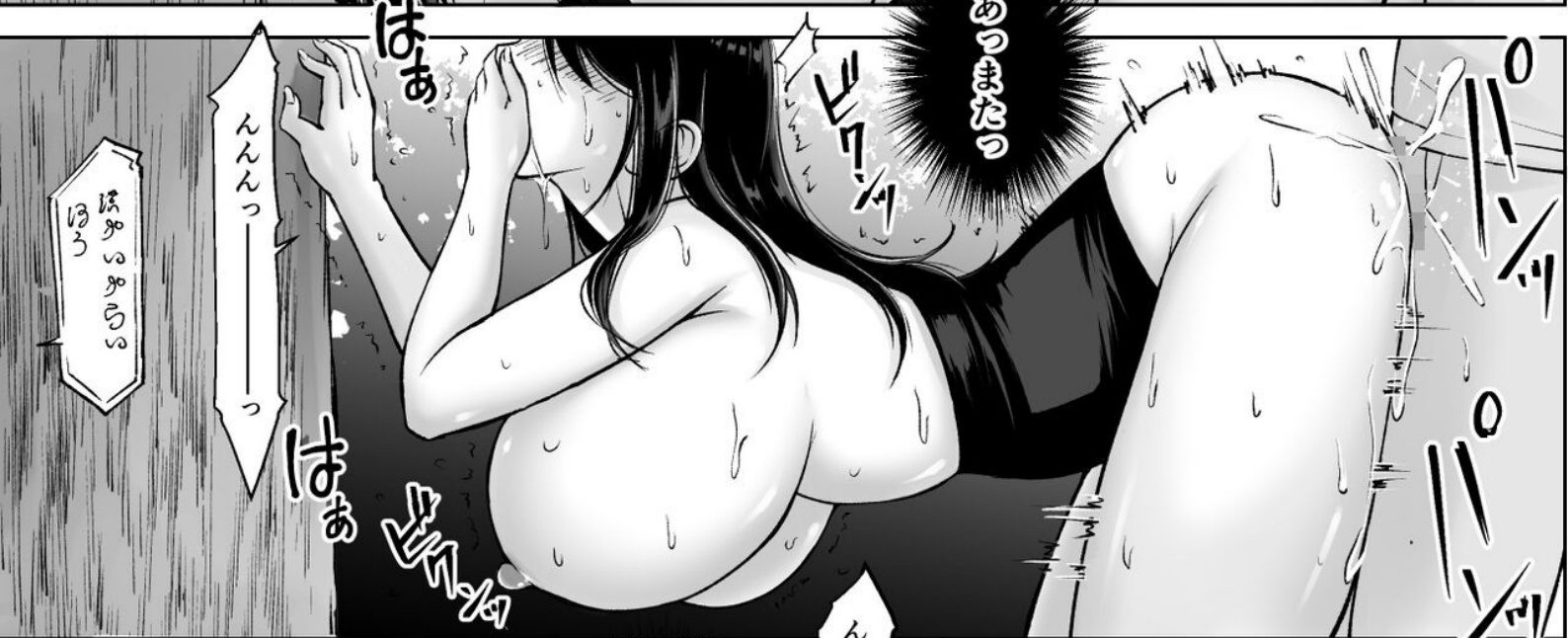
ナオ君の
おちんちんも
パンパンに膨れて
るからか



声が出ちゃうっ



気持ちいい所に
全部当たる
気をつけないとっ





んんっ
っ

はぁ

はぁ

イクっ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

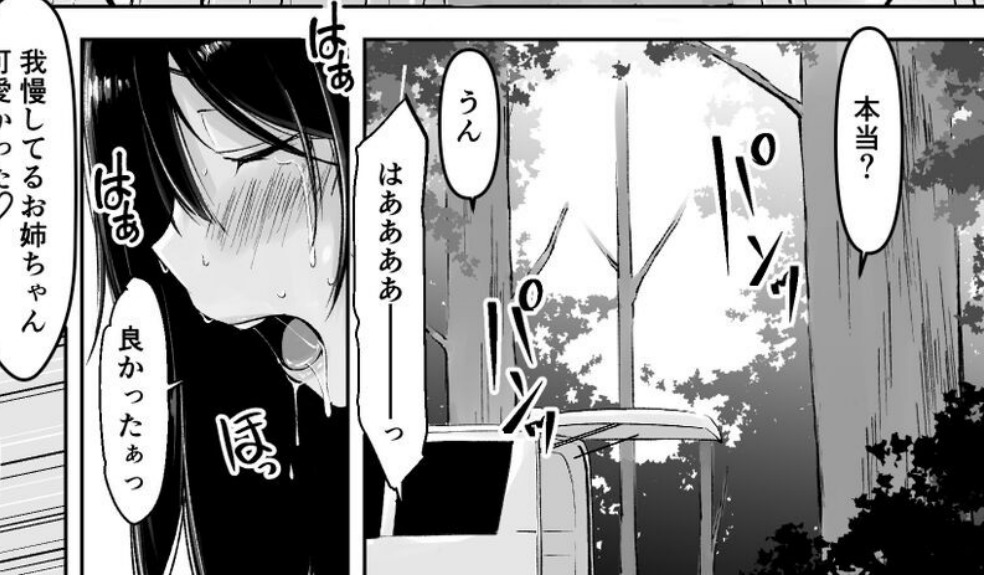
はぁ

はぁ

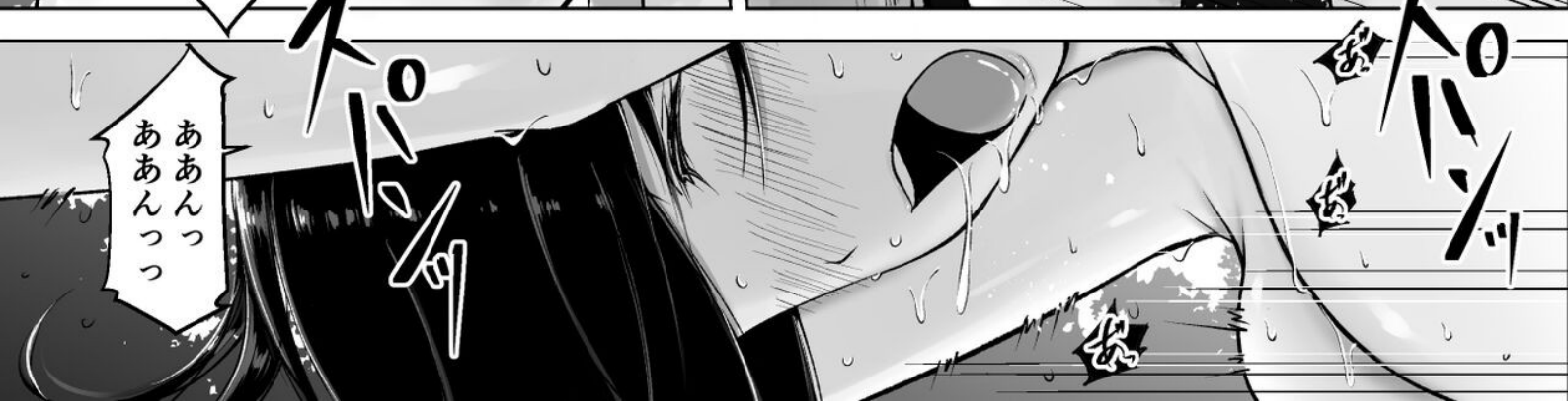
はぁ

はぁ

気持ち良いっっ











僕を
とことん満足
させてくれる
最高の彼女で

アキ姉ちゃんは



じっとしててね
きれいに
してあげるから

だからこそ
そんな
お姉ちゃんと
釣り合うような

あらあら！
またおつきくなつて
きちゃったの!?

そんな男に
なりたくて

あら？

もうカチンカチン
じゃない

お姉ちゃんの
口が気持ち良くてっ

これじゃまだ
終われないわね



セックスの時は
何度も
お姉ちゃんを
イカせようと

ああんっ

ああっんっ

ああんっ



ああんっ
ナオ君っ 凄いつつ

お姉ちゃんっ
またイッちゃうっよお!!

こうして
アキ姉ちゃんと僕の
ハメっぱなしの休日
は過ぎていった

とことん
頑張ってしまうんだ

〇〇大学学生寮

溜まりに溜まっていた
僕の性欲は
一向に収まらず

アキ姉ちゃんの妹で
二十歳の女子大生
ナツ姉ちゃんも交えて
三人でする事になった

ああっ

あっ

どうせなら
三人でしたほうが
楽しいと思って

もう
しょうがないなあ

以前
三人でセックスをしてから
ナツ姉ちゃんとも
そういう関係になり

あっあっ

三人ですることも
当たり前のようにな
っていただけど…

凄いでしょナオ君
ずっとこうなんだから

あつ

ひちゃ
ひちゃ

ひちゃ
ひちゃ

ひちゃ
ひちゃ

ひちゃ

あつ

ひちゃ

カチカチどころか
ガツチガチじゃん！

あつ

ひちゃ

ひちゃ

ひちゃ

ひちゃ

ひちゃ

ひちゃ

沢山したって言ったけど
何回位したのさ？

はあ

ひちゃ

ひちゃ

はあ

覚えてないわ
10回くらい？もつとかも
仕事終わってから
ずっとしてたから

はあ

ええっ？！
それでも
こんななんだ

はあ

ひちゃ

ひちゃ





あんっあんっ
気持ちいいっ

そういや昨日は
どこ行ってたんだ?

えっと...
それが

ん?

山あっ!?

山で...

やっぱりナオの
おちんちんイイっ

まあ海でもやったし
今更か
けどナオはあれか?
外が好きなの?

そういうわけじゃないけど
お姉ちゃんが
妻くHな格好してたから
すぐにしたくなっちゃって

へえHな格好ねえ



出すよっ
ナツ姉ちゃん!

まずは

一発目っ!

あっはっ

びるん

んっはああ

ああっ熱いの
入ってくるうっ





その後も
何度出したか
分からなくなるくらい

前から

後ろから

何度も
挿れ続けた



私だってナオの事
大好きなんだから

お姉の代わりじゃなくても
いつでも相手してやるから

もう遠慮なんて
するなよな

で？ナオは
収まったのか？
ん？なんか当たってる？

ありがとう
ナツ姉ちゃん

まさか…



まじ...か

ガチ
ガチ



あら
まだやってたのね



お姉っ

ふあぁ

あぁっ
よく寝たっ

んん

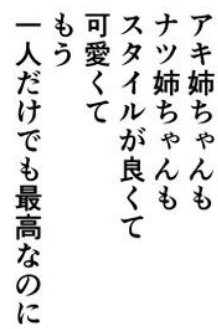
アキ姉ちゃん

やったぞナオ
助っ人が
お目覚めだ！

はい？

？





二人を並べて順番に
味わうのは最高の贅沢だ

アキ姉ちゃん！
ナツ姉ちゃん！！





んはっ

んあっ

パン

パン

とても気の合う
ナツ姉ちゃん

パン

パン

どっちのお姉ちゃんも
最高に気持ち良くて

ピチピチの弾けるような身体が
突き挿れるたびに
揺れる
もう一人の彼女



あっ

あんっ

パン

大好きな
アキ姉ちゃん

パン

パン

パン

大きなおっぱいと
大きなお尻
そして

吸い付くような
温かい肌で
僕を包んでくれる
最高の彼女



夢中で挿れ続けた





ああんっああんっ

あ

あ

ああんっ

が

が

ス

スポッ

ぐ

ス

スポッ

じゅ

じゅ

ス

スポッ

ぐ

ぐ

ああんっ
おちんちん熱いつ

オマンコっ
蕩けちゃうよっ

ああんっ
ああんっ

が

が

ぐ

じゅ

じゅ

ああんっ
ああっ

が

が



ああんっナオ君の
奥まで来てるうっ

オマンコっ

はぁ

おちんちんで

いっぱいになってるうっ

はぁ

がる

がる



ナツ姉ちゃんもっ

はぁ

アキ姉ちゃんもっ
オマンコっ
ぐちゃぐちゃっ

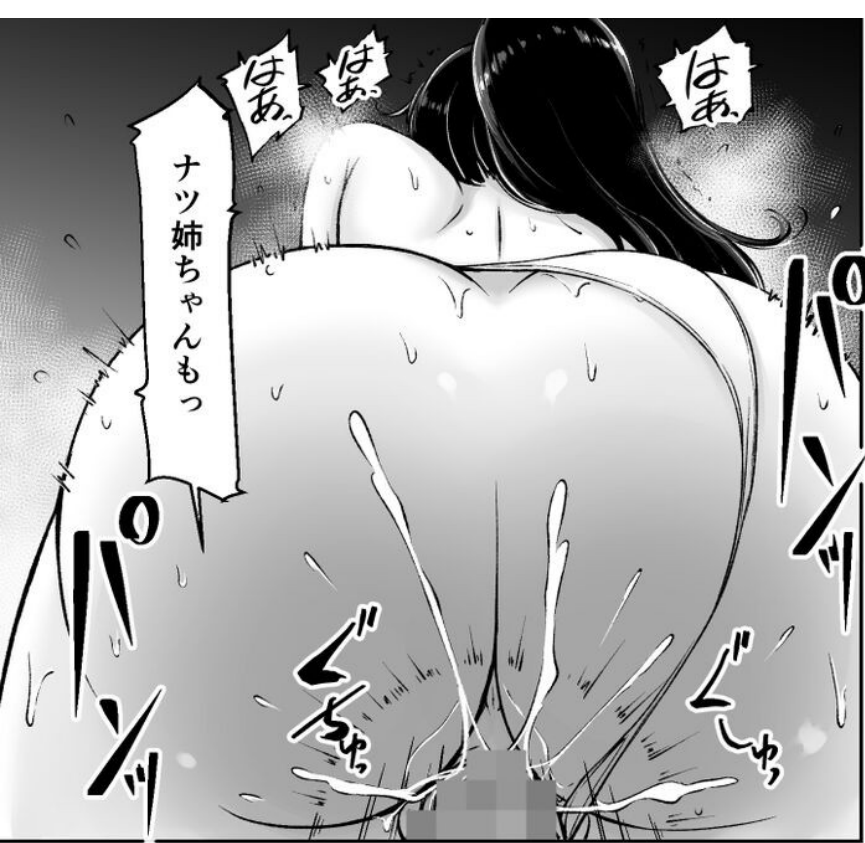
最高のオマンコだよっ
ずっと突いていたいっ!



ああんっナオっ

激しいのっイイっ
またイッちゃうっ!





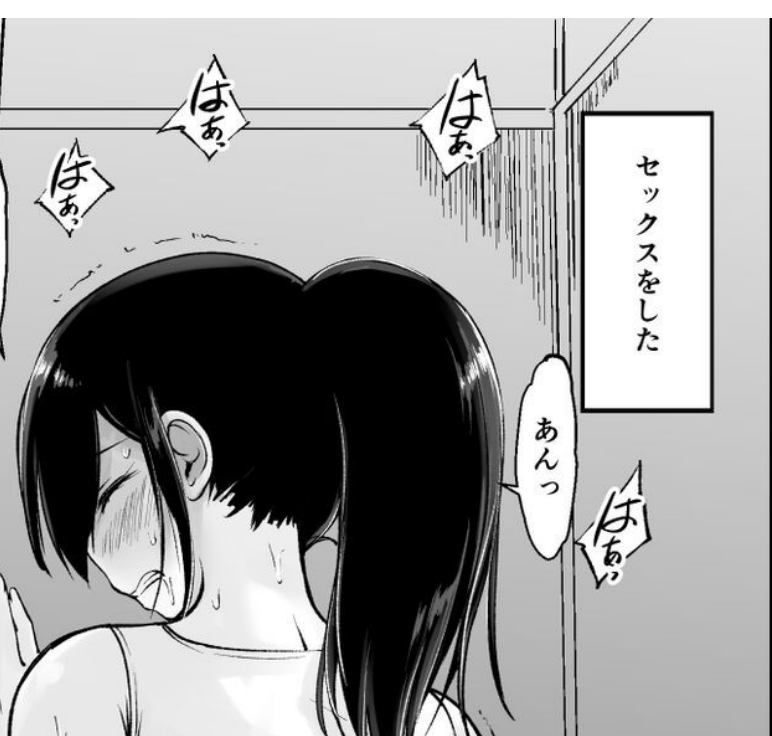


んんんんっ——

んああっ——



それから僕は
大好きな
お姉ちゃん達と



セックスをした



少しづつ
変化もあるけれど

ナツ姉ちゃんとも
二人でするように
なったし

あとがき

皆様こんにちは春日エリイです。
この度は「イトコのお姉ちゃんと僕の甘々性活3」を手にとっていただき
ありがとうございます。
今回も楽しんでもらえたら幸いです。

さて今作ですが、
最初はタイトルを別のものに変えようかと思っていたのですが
続き物だしタイトルは揃ってたほうがいいかなと思い直し
一作目二作目と同じくこのようなタイトルになりました。
ちなみに当初は「日向野姉妹の休日」というタイトルで考えてました。

当初考えていたタイトルにあるように
今作は休日を満喫するお姉ちゃん達とナオ君を描こうと始めた漫画ですが
結局のところ休日だからこそたくさんするぞ！といった感じになりました。

三人と一緒に
お姉ちゃん達との甘々性活を楽しんでもらえたら嬉しいです。

この度はありがとうございました。

「イトコのお姉ちゃんと僕の甘々性活3」

発行日 2023年4月20日
発行 春garden
発行人 春日エリイ

mail kasugaellie@outlook.jp
twitterID @kasugaellie
pixivID user_gwma5338

この本は成年向けです。18歳未満の購入閲覧を禁じます。
またこの作品はフィクションです、実在の人物や団体などとは関係ありません。
発行元の許可なく本誌の無断転載、複製、ネットへのアップロードを禁止します。

